



「ノコギリの目立て研修会」(1/2)

主催 岩手山地区パークボランティア連絡協議会



簡易アサリ取り器

ダイヤモンド両刃ヤスリ(左)

両刃ヤスリ(鋼:右)

〔記録メモ〕 (文責:家子)
 【日時】 2020(R2)年10月24日(土) 10:00 ~ 13:30 【天候】 小雨
 【場所】 網張ビジターセンター
 【参加者】 網張VCのOBと関係者:大堀、坂内 PV:阿部、佐々木(和)、広野、三上、上村、佐々木(義)、浪岡、福山、家子 計11名(講師:佐々木(和)・広野PV)

【概況】・家子会長の挨拶の後、佐々木(和)講師よりこれまでの自分の経験を含め鋸の各々の名称や使用する道具等について詳細に説明があった。(詳細は、別途写真等で記述)
 ・その後、広野講師より自分の失敗談を交え貴重なレジメの説明があった。
 ・鋸の刃の各々の名称や目立ての要領をひとつおりの研修後、いよいよ目立ての作業開始！コスリン、コスリンとそれぞれ異なるメロディがしばし鳴り響いた。佐々木(和)・広野両講師がまわりながら皆をサポートした。途中で、アサリ出しの道具の使用方法や実演、実施指導もあった。途中で部屋の空気を入れ替えながら。作業は午前中続いた。
 ・昼食後、テラスに出て、各自が目立てした鋸の切れ具合を確認し、それぞれが、「これまでとは格段に違う」ということを実感し大満足！
 ・後片付けのあと解散、・・・講師さん素晴らしい研修有難うございました。

〈写真提供〉阿部PV・浪岡PV・家子PV



家子会長の挨拶



佐々木(和)講師の説明



広野講師の説明

①昨年来の要望事項が両講師のお陰で実現できた。②鋸はPVでもよく使用するので、研修内容を理解し活用できるようにしてほしい。
 ③中身の濃い研修ですので、継続的に練習し自分の技術にしてほしい。

①鋸の刃の名称②目立ての順番③刃の研ぐ角度④ヤスリの使い方:本来は固定して研ぐが今日は手で固定して行う⑤最後にヤグラ(上目)を研ぐが、これで切れ味がきまる。⑥研ぐときは、リズムに乗って同じ角度で行う。⑦何度も練習することが大切・・・等

①資料に基づいて説明②アサリ出して、一気に出すと刃が折れることや刃の凸凹を平らにすることの難しさ(失敗談と苦労話等)③盛岡市内の目立て店に行き、色々な鋸や情報を収集(下の写真参照)④アサリ出し器の説明、実演等

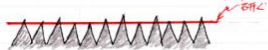
※浪岡事務局長から、工藤ARより「くれぐれも事故のないように！」とのことづけが報告された。

広野講師の資料

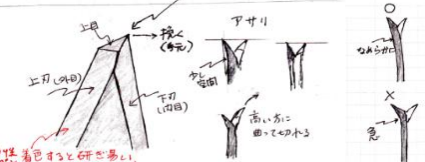
鋸の目立て

目立て履5年、佐々木(和)さんの指導

1. 刃の凹凸を平らにする。



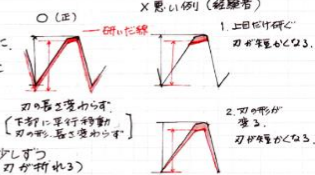
2. 刃とアサリ



目立ての順序 1. 下刃(内目) → 2. 上刃(外目) → 3. 上目(頸)?
アサリ出しは最後に。

3. 目立ての注意

- ・刃を歪めかさないように。(アサリが小さくなる)
- ・左右の刃を同じ高さに
- ・切れの角を手に。



4. アサリ出し

- ・切れ味を衰えさせず(1回大きく出すと刃が折れる)
- (方法)
- ・簡易アサリ出し器(素人?) SOMAX(ネット)
- ・アサリ金庫(プロ?) → 中尾刃物店(盛岡市通1) 019-623-2545
- ・他のアサリ取り器。(目立、盛岡市通-?)

(表) (裏)

201024 広野

鋸の目立て。

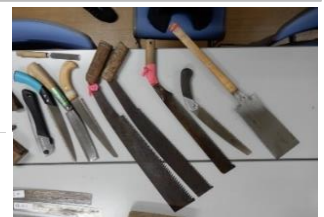
広野 孝男

坂本直行さんは「山・原野・牧場」の中で次のように書いている。
 「雪をショベルでよけてどっかと腰をおろし、よくとぎました鋸でシャンコシャンと木を抜くくらい気持ちのよい仕事も少ない。だがまた、切れ味の悪い鋸で木を抜くくらい阿保らしいことも少ない・・・鋸の歯は交互に外にそっている。あのそりをアサリというのだが、無精してチョン(9頭)ばかりこすっていると、アサリがだんだんなくなって、しまいには鋸がしがって動かなくなってしまおう。」

また、猪谷六雄さん(千春の父)は「雪に生きる」の中で次のように書いている。
 「・・・「スツキリと涼しそうに見える刃に磨けば、きつとよく切れるよ」赤城山の炭焼のおじいさんの教えは名言だと思う。・・・」

チェーンソーがないので手鋸を使い、前作りをやっていく。鋸は使っていると切れなくなる。そこでヤスリで自己流に研いでみたが、切れるようにはならなかった。アサリを出すことはできないと思っていたが、兄から「アサリ取り器」をもらった。素人でも簡単にアサリを出すことができるというものがだった。新しい鋸を入手し、それを手本に目立てをやり始めた。ボランティア仲間にも経験者がいて、指導も受けた。

鋸の刃の一つをよく見ると、一つの刃物だ。ノミや鉋のように見える。両側に刃があり、先端は尖る。一つの刃を研ぐことはやさしいことだが、鋸の刃は1本ではなく、40~50本もある。これを先端が一直線になるように揃えなければならぬ。そしてアサリを出す必要もある。急に難しくなる。研いだ後に木を抜いてみれば、結果は明白だ。自分でよく研いだつもりでもシャンコシャンと気持ちよく抜けなければ、どっかおかしい、研ぎ不足か、刃の先端がそろっていないか、アサリが足りないかである。また接いでどちらかに曲がるようであれば、刃の高さがそろっていないから、刃の高い(長い)方に曲がっていく。



佐々木(和)講師の鋸各種



広野講師の鋸各種



広野講師のアサリ取り器とヤスリ



[記録写真]

「ノコギリの目立て研修会」(2/2)

主催 岩手山地区パークボランティア連絡協議会



目立て用アサリ槌

目立て用アサリ取り器



各自持参のノコギリで目立ての実習



広野講師の直接指導



佐々木(和)講師の直接指導



アサリ出し用具の一つ



広野講師のアサリ出しの実演①



広野講師のアサリ出しの実演②



- ①各自が目立てた鋸で切れ味を確認:「これまでとは格段に違うことを実感し大満足」であった。
- ②鋸は引く時に切るが、左右にぶれないで、真っすぐに引くことが大切。
- ③切口も綺麗であった。
- ④木の切断時の広野講師の段取りも素晴らしかった。



- ④小雨模様であったが、室内研修なので、特に気にならなかった。
- ⑤外は紅葉で、観光客も多くみられた。
- ③滝の上温泉地区の紅葉も素晴らしかった。小雨にも関わらず観光客も多かった。



岩手山地区PV自主研修・鋸の目立て講習会 2020/10/24
試し切りを終えて

- ①輪切りにした薄い皿状の木片はVCの行事に再利用
- ②この後、部屋に戻り、振り返りをお行い清掃後、両講師に拍手で感謝を表し行事の終了となった。
- ③非常に中身の濃い研修であった。
- ④今後の鋸談義も楽しみである。

※福山PVIは午前中で帰ったので、〇窓写真になった。